

# リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2024年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務			協力会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)	
工期	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日			作成者	中島 強太	
作業名称	料金所案内標識撤去(ユニック無し)		作業手順書	作成年月日	令和3年10月6日	
使用機械 使用設備 (具体的な名称・ クラスを記す)	トラック(2t車)、高所作業車(12m)			協力会社社確認	自筆サイン	
				元請確認	自筆サイン	
使用工具 機器 (大きさ等又は具 体的な寸法を記 す)	ボルト締付工具、インパクトドライバー、パール、スコップ、測量器、ほうき			改正年月日		
				作業順序		
保護具	ヘルメット、安全靴、脚絆、自発光チョッキ、手袋、安全帯			1	準備作業	
				2	取替位置確認	
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す	・高所作業車運転教育			3	既設標識撤去	
	振動工具取扱・小型移動式クレーン			4	標識板設置	
作業人員 (当作業に関わる役 割と人員を全て記 す)	職長 1人、作業責任者 2人、高所オペ 1人			5	後片付け	
	合計 4名			6		
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)		周知会実施日	令和3年9月10日	7	
	(役割を確認してこの作業に関わる 全員が自筆サインする)				8	
					9	

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能性 ○:めったに発生しない (5年に1回程度) △:時々発生する (1年に1回程度) ×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	○○	○△	○×	○○	1:極めて小さい	関係者に対策の周知
	△○	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい	関係者に対策の指示
	×○	×△	××	○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
				△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
				××	5:極めて大きい	十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対策の指示 1=関係者に対策の周知

作業項目 (誰が)	手順 主なステップ	急所 作業のポイント	リスクの洗い出し (予想されるミス・ロス)	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	ミス・ロス	リスクの除去・低減のための 実施すべき事項の特定 (防止対策)
土中基礎									
現地確認(全員)									
	作業箇所確認	危険ポイントの確認							
	周辺安全確認	構造物の確認							
準備作業(全員)									
	ミーティング	健康状態の確認 免許・資格等の確認							
	車両の点検・準備	車両の始業前点検、 工具の確認							機械器具の作動、ワイヤーの点検色を確認する
		健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用ブレードの確認、入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検、工具の確認、積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め位置、荷台のネット・シート掛けの確認する。 <b>工事車両がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認。</b> 担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。 <b>車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。</b>							
既設標識撤去(高所オペ)	損傷対象物の撤去をする	埋設ケーブルの確認	埋設ケーブルを切断する	△	△	×△	3		
		対象物撤去を行う	撤去時に作業員と接触する	×	△	×△	4		作業旋回範囲に立ち入らない
標識組み立て(高所オペ)									
	標識と支柱をボルトで固定	締め忘れがないようにする	締め忘れをすると標識が落下する恐れがある	△	△	×△	3		ボルトの締め漏れがないか確認した後、アイマークを確実に進行
後片付け(全員)									
	清掃	路面に土砂・破片等が残っている							ほうき、プロア一等を使用し、施工範囲を清掃する
		落し物・忘れ物							周囲を確認し、忘れ物がないか確認する
									工事車両を除外した場合は専用のケースに 確実に格納し車内に保管する事